

仙台市

連合町内会長会だより

(題字は藤井仙台市長)

平成17年(2005年)3月

第14号

発行
仙台市連合町内会長会〒980-8671
仙台市青葉区国分町3丁目7番1号
(仙台市民局広聴相談課内)
電話 022-214-3810

全国自治会連合会

仙台大会開催

平成十六年十月十四日、自治会・町内会等、地域住民による自治組織の連合体の全国組織である全国自治会連合会の全国大会が仙台大会として、仙台市青葉区のパレスへいあんにおいて、開催されました。全国の都道府県を代表して、三百三千人余りの方々が出席されました。

式典は、青木美治栄仙台大会実行委員長のあいさつに続いて、兼松久和全国自治会連合会長は、「全国の自治会・町内会関係者が一堂に会し、研修や情報交換を行う年に一度の貴重な機会であり、仙台大會が実り多きものになるよう」とあいさつがありました。続いて、藤井黎仙台市長の歓迎あいさつにおいて、「災害に強い地域づくりを推進することとは、喫緊の課題であり、また、本大会が明日の豊かな活動につながることを期待します」と述べられました。

小泉純一郎総理大臣からメッセージが寄せられ、披露されました。

そして、来賓の麻生太郎総務大臣(代理)に続



藤井市長あいさつをする

第一部の式典に続いて、講演会が開催され、「伊達政宗と仙台」を1で紹介して、全国自治会連合会表彰で、多年にわたり、自治会・町内会に貢献された五十五人の方が表彰されました。



名残尽きない交歓会風景

マニ、仙台市博物館長の佐藤憲一氏を講師として、現代に息づく政宗公のまちづくりについて、お話しがありました。

第三部の交歓会では、お互いのふるさと自慢や情報交換など、短い時間ではありましたが、和やかな雰囲気のうちに、フィナーレを迎えた。

なお、大会開催に当たっては、青木会長を委員長に実行委員会を立ち上げ、仙台市連合町内会長会の役員全員で準備に当たりました。その間には、実行委員会二回、幹事会四回と協議を重ねながら、北は北海道から、南は九州大分・宮崎からの遠来のお客様を気持ちよくお迎えし、全国大会が有意義だったという感想を持って帰られるなどを念じ、準備を進めてまいりました。

ごあいさつ

仙台市長
藤井

黎

ごあいさつ

会長
青木 美治栄

仙台市連合町内会長会の皆様には、本市の市政運営に対し、日ごろより格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新潟県中越地震が発生し、自然災害の恐ろしさを再認識いたしました。近い将来高い確率で起ころといわれている宮城県沖地震に備えて、自分の身は自分で

今年は文化やスポーツなどでますます「仙台」への注目度が高まるこども思われますが、仙台を支づくりに積極的に取り組んでまいりたいと思います。

今年は文化やスポーツなどでますます「仙台」への注目度が高まるこども思われますが、仙台を支

づくりに積極的に取り組んでまいりたいと思います。

今年は文化やスポーツなどでますます「仙台」への注目度が高まるこども思われますが、仙台を支

えているのは町内会の皆様がた一人ひとりの力であり、市政への一層のご理解とご協力を願うます。

最後に、貴会の益々のご発展と

皆様のご健康をお祈りしてご挨拶

▼正副会長会

会長、副会長(四名)、庶務理事、及び会計理事(計七名)が、市連長会の運営について協議を行いました。八月と十二月を除く毎月、十回開催されました。協議のおもなものは、○全国自治会連合会仙台大会、○町内会活動の活性化に向けた支援策、○町内会PR(テレビCM等)、○町内会加入促進対策、マンション、アパートの入居者の方の町内会への加入を促進するため、不動産会社や管理会社、管理組合への働きかけをする。

▼役員移動研修会

十二月十四日、太白区秋保町のホテルニュー水戸屋において、第一回役員会に統一して、移動研修会を開催しました。町内会等自治組織支援策検討会の結果報告を踏まえ、自治活動のあり方などを討議しました。

▼東西線の早期実現へ!!

一月二十七日、仙台エクセルホテル東急において、市民団体、商工団体などと共に、「準備万端! 地下鉄東西線とまちづくり東西線の早期実現へ!! 市民の集い」が開催され、多くの市民の参加のもと、十年後開業に期待をふくらませました。

▼市民の集い

総会では、平成十五年度事業報告、収支決算報告及び平成十六年度事業方針、収支予算、全国自治会連合会仙台大会開催要綱、仙台大会收支予算などについて協議いたしました。

▼町内会・自治会調査

役員会では、総会に諮る事項や全国自治会連合会仙台大会の運営について、今後予想されます災害対策として、早急に各地区における自主防災組織を強化し、町内会の育成と活性化に努力邁進していくことを協議しました。

仙台市連合町内会長会

(略称 市連長会)

市政出前講座



町内会や各種団体の研修などで、是非ご利用ください。

仙台市市民局市民部広聴相談課
TEL 214-6132 FAX 213-8181
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

町内会の皆様には、日頃、安心・安心なまちづくりのため、協力してご尽力を賜り、深く感謝申しあげます。また、平成十六年度全国自治会連合会仙台大会が開催されました。全国からたくさんのお仲間を迎え、皆様と交流しながら情報交換できましたことを、大変うれしく思います。皆様のご協力により、大きな力となり、

字として「災」が選ばれましたように、天災の多い一年であります。さて、昨年の世相を表現する文字として「災」が選ばれましたよう、天災の多い一年であります。ふるさとを壊した新潟県中越地震などありました。夏場の集中豪雨。相次ぐ台風。ふるさとを壊した新潟県中越地震などありました。

このような社会状況のもと、行政側と連携するとともに、町内会の役割が重要視されます。人間一人の力は小さいですが、住民相互の協力により、大きな力となり、

よい明るい一年であることを期待して、今後予想されます災害対策として、早急に各地区における自主防災組織を強化し、町内会の育成と活性化に努力邁進していくことを協議しました。

役員会では、総会に諮る事項や全国自治会連合会仙台大会の運営について、今後予想されます災害対策として、早急に各地区における自主防災組織を強化し、町内会の育成と活性化に努力邁進していくことを協議しました。

青葉区連合町内会長協議会

平成十六年度活動状況

△総会

平成十六年五月十三日大嶋区長等を来賓に迎え、勾当台会館で開催しました。

平成十五年度の事業並びに決算報告、平成十六年度の事業計画及び収支予算案、役員補充について原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

平成十六年八月十日市役所八階ホールで新任町内会長六十七名と連合町内会長の出席をいただき、開催しました。当協議会で作成した「町内会の手引き」等を参考に、町内会の役割や関係する諸制度について研修しました。

△連合町内会長移動研修会

平成十六年十月二十七・二十八日作並において、仙台中央警察署の佐藤生活安全課長を講師に迎え、侵入犯罪や街頭犯罪の被害者にならないためには自己防衛策と地域の安全対策が重要であることを研修しました。

△町内会会員研修会

平成十六年十二月七日エルパーク仙台において、仙台市消費生活

センター伊藤主査を迎え、架空請求や振り込め詐欺等の問題商法への対応について、百七十三名の会員が参加した研修会を開催しました。

※当協議会が毎年参加していた十一月三日開催予定の青葉区民まつりは、大雨のため中止となりました。

《川平学区 連合町内会》

安全で安心な
地域づくりを

会長 島田 福男

昔、伊達藩のお狩場だったといふ川平学区は、中山七・八・九丁目と川平三・四・五丁目、そして西勝山の地域で構成されています。当連合町内会は六町内会と数は少ないが、川平団地町内会が千世帯、百世帯、西勝山町内会が八百世帯と大型町内会が多いのが特色です。(登録世帯数は約三千五百世帯)



第26回川平学区民体育祭

昭和四十年代後半から五十年代前半にかけて開発されたこの地域は、親睦と融和を合言葉にして様々な行事を設け、各町内会同士の連携や地域住民の交流を図っていました。

春に開催された学区民体育祭は川平小学校との共催で実施し、子どもから大人まであらゆる世代の人が参加して、地域のコミュニケーションづくりに大いに成果が上がり

ました。

九月には学区防災訓練を実施して、災害時の備えと防災意識の高揚を行いました。

また、川平コミュニティセンターを地域の拠点として様々な活動を行っています。なかでも川平一堂に会して、文字通り地域住民の一大交流の場となっています。

今後の課題としては、急速に進む高齢化への対応が最も重要な一大交流の場となっています。

コムニティまつりは各町内会が一大交流の場となっています。

今後も高齢化への対応が最も重要な課題となっています。

《大倉地域 連合町内会》

大倉の未来のために
会長 庄司 勝壽

私達の暮らす大倉地区は、仙台市に位置し「緑豊かな大自然」「仙台市民の水瓶である大倉ダム」「年間百万人の参詣者が訪れる定義如来さん」を有する、歴史と自然に恵まれた地区であります。当連合町内会は四単位町内会・世帯数百十八戸・総人口五百人余と、大変こじんまりとした地区ではありますが、住民一人一人が積極的に町内会活動に参加し、各世代間の連携が取れた大変すばらしい地区です。現在大倉地区において、青葉区指定の「個性ある地域づくり計画策定事業」が展開されており、青葉区指定の「個性ある地域づくり計画策定事業」が展開され、大倉地区個性ある地域づくり策定委員会

ると思われます。団地特有のことですが、開発された時にほぼ同年代の人達が同時に居住し、そのまま年を重ねて現在に至っています。少子化と核家族化がそれに拍車をかけ、一人暮らしや夫婦二人だけのお年寄り世帯が加速度的に増えてきています。

誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを学区全体で取り組んでいる今日この頃です。



大倉地区個性ある地域づくり策定委員会

ると思われます。団地特有のことですが、開発された時にほぼ同年代の人達が同時に居住し、そのまま年を重ねて現在に至っています。少子化と核家族化がそれに拍車をかけ、一人暮らしや夫婦二人だけのお年寄り世帯が加速度的に増えてきています。

誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを学区全体で取り組んでいる今日この頃です。

誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを学区全体で取り組んでいる今日この頃です。

宮城野区連合町内会長協議会

平成十六年度活動状況

△総会

四月十五日、櫻井宮城野区長を来賓として迎え開催し、平成十五年度事業報告、収支決算報告並びに平成十六年度事業計画案、収支予算案を協議し、原案どおり承認されました。

△青葉まつりへの参加

五月十六日、第二十回仙台青葉まつりが開催され、十の連合町内会代表が武者、子供武者として堂々の行進を行いました。

△新任町内会長研修会

七月二十九日、新任会長（六十名中四十一名が参加）を対象に、市の行政の仕組みを当協議会が作成した「町内会活動のガイド」を使つて説明し、困りごと等の相談を区連協役員と行いました。

△移動研修会

今年から、他都市との交流・意見交換等は行わず、会員の見聞を広め且つ親睦を図ることを目的に八月三十・三十一日、福島方面で研修を実施いたしました。

△秋の交通安全運動区民大会

九月二十日、晴天の下、宮城野原公園総合運動場南側多目的広場

で「みんなで参加楽しく交通安全」をスローガンに開催。当協議会としても宮城野区の交通安全を高らかに宣言いたしました。

△みやぎの・まつり

十月十七日、晴天のなか、各連合町内会の代表が、メインステージで演芸を披露し、まつりを大いに盛り上げました。

《原町地区 町内会連合会》

地域住民の福祉推進

会長 鈴木 孝夫

原町地区町内会連合会は十四町内会、東は苦竹町内会（日の出町一丁目・二丁目）までの長い区域であります。又清水沼町内会、南は五輪かっここう公園、梅田川等実に暮らしがやすい町並となつております。

毎月第一水曜日に連合会長定例会を開催しており、又今年度は各町内会等の防災防犯マップを作成し、災害等の安全対策の促進に努めています。



原町学区民運動会

めております。

九月十二日には、原町地区町内会連合会と婦人防火クラブ共催の消防訓練をかっここう公園にて、消防署職員並びに原町消防団員指導のもと実施しております。

十月二十三日は、原町小学校と原町学区民体育振興会共催の大運動会が開催されました。このように町内会相互のコミュニケーションにより親睦と交流を深めております。



梅田川フェスティバル

また、青年婦人部の方々が一人暮らしの高齢者の見回り安否確認等を実施しております。又原町ボランティアグループが年六回の食事会を実施しており、一人暮らしの方々の地域福祉推進のため尽力しております。

近年、地域福祉の声が多くなってきてきているところなので町内の高齢者の情報を把握し、何かあった場合、お互いに協力できる連合町内会を目指していきたいと思っております。

《高砂地区 町内会連合会》

会長 片桐 瞳男

本地区は、仙台市東部に位置し、人口約五万三千人、地区内は七小学校と三中学校があり、五十町内会で組織されており正にマンモス連合会です。このため、五年度総会において小学校学区又は中学校学区単位の分割論が提言され、執行部に対し検討するよう決議されました。元來、当地区は高砂村時代の農村地域が次々開発、都市化されてきたことから現在に至つてもなお、一体的に密接な繋がりが続いており、各小学校学区から理事一名が選出されて理事会を構成し、会運営の母体となっています。

本会活動の一つに、公共施設整備促進特別委員会があります。今年も各町内会から提出された課題を集め、平成十六年度高砂地区

公共施設整備促進についての要望書として宮城野区長に提出しています。これを受けて去る八月、仙台サンプラザにおいて区長以下二十九名の担当者と五十町内会長が参加して地域懇談会を開催いたしました。

主な課題としては、七北田河口や太平洋に接していることから津波対策、仙台市街地の下流域に属しているため、降雨時の住宅地浸水・水害対策、農圃地内市道舗装化、仙台港背後地開発の防災対策等十五項目に亘りました。

次に、町内会長同志の連帯と調整を図るため、今年は一泊二日で盛岡方面への研修を実施、町内会の真の活動とは何か、胸襟を開き語り合い、秋には日帰りでの市の施設見学を実施、その他広報誌を年二回発行し、町内会員全世帯に配布、活動状況等の情報を伝達しています。

（寄稿者 平山 和男）



平成 16 年度高砂地区地域懇談会

若林区連合町内会長協議会

平成十六年度活動状況

△総会

五月十四日、森下若林区長を来賓として迎え、若林区中央市民センターを開催。平成十五年度事業報告、決算報告、平成十六年度事業計画案、予算案、役員改選が原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

七月二十三日、新たに町内会長になられた方を対象に開催し、四

十一名中二十六名が参加。「町内会活動の手引き」を活用しての研修と区連協理事との意見交換等を行った。

△町内会長移動研修会

九月九日、七十五名の参加のもと、福島県柳津町を訪問、虚空蔵尊、斎藤清美術館を見学しました。

△さいたま市南区自治会長と懇談

十一月十六日、さいたま市南区の自治会長三十九名来区、町内会活動について、活発な意見交換を行いました。

△若林警察署設置の請願書提出

十一月三十日、若林区への警察署設置を求め、宮城県議会議長

に、五万人以上の署名を添えて請願書を提出しました。

△若林区選出の

十二月二十二日、若林警察署設置や地下鉄東西線などについて懇談し、活発な意見交換ができ、大変有意義なものとなりました。

市議・県議との懇談会

夏には夏祭り運動会を実行委員会を設けて開催しています。

△南材地区 町内会連合会

安全・安心のまちづくり

会長 中嶋 信雄



防犯パレード

七百（十八世帯）で構成されています。

連合会活動としては、新年懇談会を毎年一月七日に、地域諸団体と連携しながら実施しており、毎年二月頃には町内会長同士の親睦を深めるため、一泊二日の移動研修会を行い、町内会活動について

活発な意見交換を行っています。

次に、毎年春に総合防災訓練を南木町小学校と一緒に実施し、夏には夏祭り運動会を実行委員会

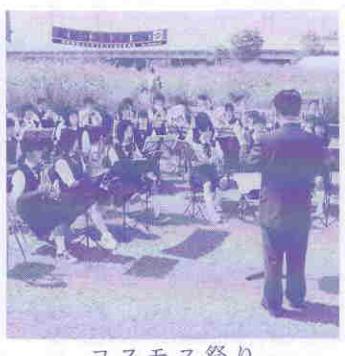
をはじめ関係部署と毎年開催し、特に交通関係の要望が重点的に検討され意見交換を行っています。

△若林地区 町内連合会

△コスモス祭りを通じて 町内活性化

会長 山口 譲雄

区役所のご指導によるもので感謝しています。
平成十六年度も引き続き防犯活動に取り組み、今年度は十月十三日などに三回防犯パレード等を開催し、安全安心地域の確保に努力しています。



コスモス祭り

コスモス植栽活動は全国的に高く評価され、平成十三年四月二十日には、緑の日全国大会において、国土交通大臣賞を受賞いたしました。

コスモス植栽活動は全国的に高く評価され、平成十三年四月二十日には、緑の日全国大会において、国土交通大臣賞を受賞いたしました。

当公園は建設省と仙台市の協働で、誰からも親しまれる安全な素晴らしい公園を目指して造られましたが、度重なる水害で流れました。

平成 17 年 3 月

仙台市連合町内会長会より

太白区連合町内会長協議会

平成十六年度活動状況

△総 会

四月十六日、佐藤太白区長を来賓に迎え開催。十五年度事業報告・収支予算案等の議案を協議し、原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

七月二十七日、新任町内会長三

十八名の参加を得て、「町内会活動の手引き」をもとに活動を進めています。手続きや制度等について説明を行いました。

△歴代区長を囲む懇談会

八月十日、太白区歴代区長六名を迎えて、区内地域活動に対する情報交換などを行いました。

△まつりへの参加協力

五月十六日に青葉まつり武者隊として、十月十七日には太白区民まつりへそれぞれ参加協力をしました。

△移動研修会

十月二十一・二十二日、国内最大の原子力発電基地といわれている福島県大熊町と双葉町にまたがる福島第一原子力発電所を見学しました。



敬 老 会

中田地区 町内会連合会

コンサートは合同で

会長 壱岐 正



中田まつり

ゲートボール、旅行等の実施ですが、独り暮らしや老夫婦を複数での見守り活動は特色だと思います。

【夏まつり】

笛、太鼓、囃子はプロの方に依頼し、老若男女の人々が賑やかに楽しめました。

その一日目の早い時間帯は、子供達に約一時間開放、ボウリング、ピンゴゲーム、その他遊びの天才達が色々工夫して楽しみ、その後は町内会員こぞって踊りました。

供達に約一時間開放、ボウリング、ピンゴゲーム、その他遊びの天才達が色々工夫して楽しみ、その後は町内会員こぞって踊りました。

コンサートは合同で

会長 壱岐 正



中田まつり

又初期消火訓練も実施しました。

【当連合会のこと】

町内会は四、班数一一三、世帯数一、六二二。総会は一回、役員会議等一五回でした。

【防災訓練】

十六年度は全国的に台風や地震が多発したので、地震を想定し身の安全を守るために、当連合会一体のもとに訓練を実施しました。

【中田まつり】

まつりは第二十九回を迎え十月二十三日・二十四日の二日間実施。一日目は学習サークル、子ども作品、個人作品の展示。二日目は縁日コーナー、子どもイベント、お茶会、お楽しみ抽選会「抽選券九、〇〇〇枚配布」、バザー、ミニ新幹線がやってくる、おばけ屋敷、二十町内対抗大会は最高の盛り上がりでした。

当連合会は仙台市の南端に位置し、母なる川・名取川の南より名取市の境に位置し、八、六〇〇世帯の構成となっていました。

当地区は年々都市化が進み二年前より連合会分離の提案がなされ、二十単位町内会総会で満場一致で分離案可決、平成十六年四月JR東北本線から西に「中田西部町内会連合会」が誕生し、現在は三、〇〇〇世帯となっています。

当連合会の主なる行事は、新年会、敬老会、篝火コンサート、防火訓練、中田まつり等です。

【第三回篝火コンサート】

コンサートは二胡の調べを、二胡奏者、武楽群さんと仙台二胡の会のみなさんの出演で開催しました。

会場は中田神社境内。当連合会、中田西部町内会連合会、中田・柳生両市民センターの共催で実施し、地域の大勢の方々の参加を得て上々の成果でした。

【第三回篝火コンサート】

会長 壱岐 正



中田まつり

【まつりのねらい】

まつりを通じて、青少年健全育成の向上と中田全地域の和が輪となり、大いなる潤いとやすらぎに満ちた地域づくりを一層進めることがねらいです。

又、来年度の第三回中田まつりを目標に頑張っているところであります。

【第三回篝火コンサート】

会長 壱岐 正



中田まつり

【第三回篝火コンサート】

会長 壱岐 正



中田まつり

泉区連合町内会長協議会

平成十六年度活動状況

△総会

五月十三日、佐藤泉区長等を来賓に迎え開催。平成十五年度事業報告・収支決算報告、平成十六年度事業計画案・収支予算案が原案どおりに承認されました。

△新任単位町内会長研修会

六月二十四日開催。当協議会作成の「町内会活動の手引き」を基に説明、続いて黒松連合町内会の若生茂行会長から実践紹介を通して、町内会の課題や取組みについて講演をいただきました。

△町内会役員研修会

六月二十四日、泉区と共催で開催。なかやま商店街振興組合専務理事の千葉裕貴氏から「中山のまちづくり」と題した講演をいただきました。

△単位町内会長研修会

九月十二・十三日秋保にて開催。泉区長から「泉区」今年の話題」と題した講演をいただきました。その後の懇親会では各町内会長同士、情報交換が行われました。

△泉区選出の

市議・県議全員参加のもと、九

月十七日開催。街灯や災害時の避難場所、まち美化をテーマに、安心・安全のまちづくりについて懇談しました。

△連合町内会長協議会研修会

十月十一・十二日鶴岡市を訪問。鶴岡市町内会連合会の役員の方々と活動や課題への取組み、これから町内会のあり方などについて意見交換を行いました。

△ホームページの立ち上げ

十七年二月に立ち上げました。泉区ホームページからアクセスできます。

『紫山連合町内会』

安全で安心して住める
街づくりをめざして
会長 小松 栄祐

当連合町内会は、平成十六年五月に、三つの単位町内会を以て発足しました。

大手の建設会社が三十年前に

いるようです。

環境が良いだけに、公園等に於ける若者の不法行為や、夏はロック花火の打上げに悩まされ、近隣の住民とのトラブルも度々お

きていて対策に苦慮しています。

「泉パークタウン」として開発し、高森、寺岡、桂に次ぐ四番目

の街として八年前から入居が始まり、パトロールを強化していく



紫山夏祭り

かないでしょう。

集会所周辺をはじめとして、花壇づくりも、地域の皆さん達の協力できれば整備させてきました。何をするにもまだこれから

で、課題も多く将来の街づくりを模索している最中で、今が一番大事な時期と気を引き締めて取り組んでいるところです。

これからも安全で安心して住める街づくりをめざして頑張ります。事な時期と気を引き締めて取り組んでいるところです。

△黒松中央町内会

これからの街づくりに思う

会長 若生 茂行

黒松中央町内会は、宮城県が初めて手懸けた公宮のベッドタウンとして造成された黒松団地に位置し、昭和三十八年三月に結成。規模は一千世帯ですが、行政区域が二つ（当時は泉町と仙台市）に跨る全国でも例の希な町内会です。一昨年、創立四十周年記念式典を行い、近未来への更なる発展を誓いました。

新しい街ですので若い世代が多く、子どもが中心となります。が、「全世代参加」をめざして企画、運営をしていますので、唯一の交流の場として皆さん楽しみにして

いるようです。

さて、単位町内会として

のコミュニティ形成への取り組みですが当地域でも少子・高齢化が進み、街の活

氣を失いつつありますこと

から感動・連帯・活力のある街づくりを目指し、きら



きらり・チャレンジ七夕広場

ものづくり講座、タウンプラン

ターによる花壇設置、観光バスを二台連ねての親睦旅行会等の事業を行っています。事業推進にあたっては、マンネリ化を防止し、目的効果を高めるため①前回のコ

ピーではなく、工夫を加えること。②参加者の意見を集約し、必ず次回に生かすこと。③役員の自己満足に陥らないこと。に留意しております。これが功を奏してか、単位活動として一定程度の成果を得ております。

しかしながら、社会情勢の変化により、住民意識も多様化しております。即ち、これから地域コミュニティ形成は、単位ではなく連合町内会がイニシアティブをとり、地域団体・事業所等との連携を図って“地域力”を高めた、広域的な安全・安心の街づくりが必要ではなかろうかと感じますが、如何なものでしょうか。

